

建物概要		敷地面積		評価の段階	
建物名称	SOSILAJI川越	11,926	m <sup>2</sup>	評価の段階	運用段階評価
建設地	埼玉県川越市芳野台2丁目8番69号・70号	7,088	m <sup>2</sup>	評価の実施日	2020年9月16日
用途地域	工業専用地域、防火指定なし	延床面積	21,819	作成者	高田 千春
建物用途	物流施設	階数	地上4F	不動産評価員番号	ふ-000483-23
竣工年月	2019年1月18日	構造	S造、一部RC造	確認日	
直近の大規模改修実施年月		平均居住人員	人	確認者	
		年間使用時間	時間/年	不動産評価員番号	

評価結果		S ランク:★★★★		78	
71.6	/100	合計	★★★★☆	66	
(得点 / 満点)			★★★★	60	
ポイントは小数点第1位までの表示とする					
B+ランク:★★★					
B ランク:★★					

### 1. エネルギー/温暖化ガス

評価	最大加点	必須項目	指標 (*は参考値)	評価値
適合		必須項目 :省エネルギー基準への適合、目標設定、モニタリング、運用管理体制		
1.0	1	根拠等 ①省エネ基準達成、②目標設定(省エネ法の努力目標)、③テナント・共用部分けた把握、④テナントとの協力を含めた運用管理体制の構築	一次エネルギー(目標値)	MJ/m <sup>2</sup> ・年
20.0	20	1.1 使用・排出原単位(計算値)	一次エネルギー(計画値)	MJ/m <sup>2</sup> ・年
		根拠等 BEIm=0.47	二次エネルギー(*)	kWh/m <sup>2</sup> ・年
5.0	5	1.2 使用・排出原単位(実績値)	CO2排出量(*)	kg-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> ・年
		根拠等 直近の実績が、600円/m未満	水道光熱費	491.0 円/m <sup>2</sup> ・年
3.0	5	1.3 省エネルギー(仕様評価) 省エネ計算対象外の倉庫エリア等	導入された対策項目数	3.0 項目
		根拠等 1)、2)、5)	利用率	%
3.0	5	1.4 自然エネルギー		
		根拠等 設置なし		
32.0	35	合計		

### 2. 水

評価	最大加点	必須項目	指標	評価値
適合		必須項目 :目標設定、モニタリング、運用管理体制		
	0	根拠等 ①水使用量の目標設定、②日・月次での把握	水使用量(目標値)	L/m <sup>2</sup> ・年
6.0	10	2.1 水使用量(計算値)	水使用量(計画値)	L/m <sup>2</sup> ・年
		根拠等 1)、2)		
6.0	10	2.2 水使用量(仕様評価)		
		根拠等 1)、2)		
6.0	10	2.3 水使用量(実績値)		
		根拠等 評価しない		
6.0	10	合計		

### 3. 資源利用/安全

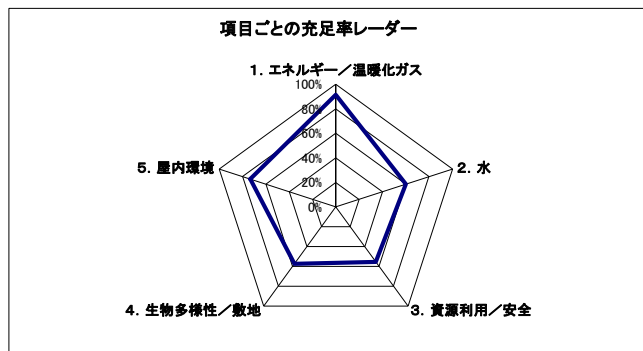
評価	最大加点	必須項目	指標	評価値
適合		必須項目 :新耐震基準への適合またはIs値、If値		
3.0	5	根拠等 2019年竣工	なし	
3.0	5	3.1 高耐震・免震等 3.1.1と3.1.2の点数の高い方で評価		
		3.1.1 耐震性		
		根拠等 建築基準法に準拠		
3.0	5	3.1.2 免震・制震・制振性能		
		根拠等 該当なし		
2.0	5	3.2 再生材利用率・廃棄物処理抑制		
		3.2.1 再生材利用率 ①と②の平均で評価する		
		① 躯体材料 該当なし		
		② 非構造材料 該当なし	リサイクル材目数(非構造材)	0 品目
3.0	5	3.2.2 廃棄物処理抑制		
		根拠等 評価しない		
3.0	5	3.3 躯体材料の耐用年数		
		根拠等 建築基準法に準拠	経過年数+今後の想定耐用年数	年
3.1	5	3.4 主要設備機器の更新必要間隔/設備の自給率向上/維持管理 1,3,4.2,3,4.3の平均		
3.3	5	3.4.1 主要設備機器の更新必要間隔	更新年数の平均値	18 年
		根拠等 受変電25年、空調機15年、ファン類15年	自給率向上の取組数	項目
1.0	5	3.4.2 設備(電力等)の自給率向上		
		根拠等 該当なし	維持管理に関する取組数	13 ポイント
5.0	5	3.4.3 維持管理		
		根拠等 特定建築物に該当しない:取組項目 1)~6)		
11.1	20	合計		

### 4. 生物多様性/敷地

評価	最大加点	必須項目	指標	評価値
適合		必須項目 :特定外来生物・未判定外来生物・生態系被害防止外来種を使用しない		
		根拠等 自ら導入していないことを確認	なし	
8.0	10	4.1 生物多様性の向上		
		根拠等 ③、⑤	②取組表による場合のポイント	2 ポイント
0.0	0	4.2 土壌環境品質・ブラウンフィールド再生		
		根拠等 要措置地域に該当しない		
1.5	5	4.3 公共交通機関の接近性		
1.0	5	4.3.1 公共交通機関の接近性		
		根拠等	鉄道駅またはバス停からの距離	分圏内
2.0	5	4.3.2 交通結節点への接近性、敷地周辺への配慮		
		根拠等 該当なし	取組数	項目
2.0	5	4.4 自然災害リスク対策		
		根拠等 キュービクルを地上より高い位置(3mH)に設置	リスクの合計数	3 種類
11.5	20	合計		

### 5. 室内環境

評価	最大加点	必須項目	指標	評価値
適合		必須項目 :建築物衛生管理基準の準拠または買入票への適合		
		根拠等 建築物衛生管理基準の順守	なし	
3.0	5	5.1 昼光利用 5.1.1の点数×2/3+5.1.2の点数×1/3		
3.0	5	5.1.1 自然採光	開口率	12.3 %
		根拠等 開口率10%以上、15%未満	昼光利用設備	種類
3.0	5	5.1.2 昼光利用設備		
		根拠等 該当する設備なし	自然換気有効開口面積	19.7 m <sup>2</sup>
4.0	5	5.2 自然換気性能		
		根拠等 引き違い窓による自然換気可能、開口1/30以上	天井高	2.7 m以上
4.0	5	5.3 眺望・視環境		
		根拠等 天井高さ2.7m、窓高さ1.3m、フロートガラスによる眺望確保		
11.0	15	合計		



### 環境性能の特徴

外壁には、断熱性の高いサンドイッチパネルを採用し、全館LED照明により平均照度300lxを維持しながら省エネ性も確保する計画となっている。

評価機関、評価員記名欄

認証機関記名欄

SOSILA川越